

ポケットジャーナル



★音キチ繁昌 夜のフラワーロード

ブルブルー。バリバリー。夜の九時ともなると市役所前からフラワーロード一帯は音キチ族の天下になる。

この界隈はオフィス街で夜になると人通りといえず、アベックか外人船員ぐらいいなもの。おまけに広い道路で、信号もないとくれば絶好のサークル!となる。

★明治は去らず

幕末から明治にかけて、激動をつづけた極東の一孤島、日本がいよいよ世界の舞台に登場する黎明期に活躍した先人たちの遺墨展、「明治維新百人遺墨展」と兵庫県にゆかりの深い人や功労のあつた先覚者達を主題にした「郷土百人の先覚者展」が生田神社と読売新聞社の主催で9月25、26日の両日県民会館二階展示場で催された。

会場はおもおもしんながら熱っぽい雰囲気がただよい、二日間だけの展示だ

バイ、ホンダN360、サニークーペなんかをひと晩中とばしゃつてジツにカッコいい。

彼ら現代っ子たちはオート

クーペなんかをひと晩中とばしゃつてジツにカッコいい。

★第七回「車座の集い」

10月26日から11月3日まで西宮の津高和一画伯宅で第七回「車座の集い」が開かれる。

対話のための作品展というタイトルで、みんなが車座になって話しましようといふことから「車座の集い」の名がついたもの。

期間中は庭で展覧会を催し、そこでみんなが音楽に語りあうといふわけだが、

お誕生日ありがとう運動」事務局=神戸市芦合区小野柄通2の五青陽養護学校内 電話②1559



いい。しかし、これら無邪気に遊ぶカッコいい若者達も、一般ドライバーにとって危険千万、愛を語るアベックや附近の住人にとつては迷惑なことこの上ない。爆音高く夜のフラワーロードを疾走する音キチ族よ。カッコよさの陰には迷惑があることを忘れんではほしい。

つたが、多数来館し、盛況を博した。

「明治維新百人遺墨展」は孝明天皇、明治天皇をはじめ、今日にも名をときめ

かす坂本竜馬、高杉晋作、勝海舟、吉田松陰、西郷隆盛、近藤勇などの幕末の主役、伊藤博文、乃木希典、岡倉天心、徳富蘇峰、森鷗外、夏目漱石など明治の偉人、英雄を悉く網羅し、まさに圧巻といえる展示会であつた。



誕生日 ありがとう 運動

第二回 「誕生日ありがとう運動賞」の受賞者決まる

昨年、日本精神障害者愛護協会の法人会を記念して設けられた「誕生日ありがとう運動賞」は、全国の精神障害施設で永年仕事に従事された方々に贈呈してきましたが、今回の献金使途の内、全国的に使途三十万円は、この第二回「誕生日ありがとう運動賞」に決まりました。

日本精神障害者愛護協会では五月以来全国の施設長に推薦を依頼していましたが、八月七日の表彰委員会で表彰受賞者を選考しました。

氏名(府県名)施設名は次のとおりです。



とくに27日には広田善徳氏が道案内人となつて、音楽ループの足立巻一氏が「詩を……」31日は津高和一氏が「絵画を……」の三つの集いがある。

出入り随意、会費無料、雨天決行のこの集いは毎回京阪神の文化人、ジャーナリスト、コレクターなど多数が参加して意見の交歓が行なわれる異色の集いである。

9月10日～15日 生田筋の安田画廊で一サラリーマンがユニークな漫画展を開き、好評を博した。

★漫画を描くサラリーマン
9月10日～15日 生田筋
の安田画廊で一サラリーマンがユニークな漫画展を開き、好評を博した。
この青年は前川義人さんという二十五才の住友ゴム

★神戸名物 „蛸の壺“
東京道玄坂店開店

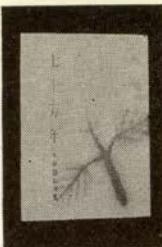
ドライバーメモ
川口陽之
(自動車評論家)



大正13年に建てられて以来四十余年間、神戸名物として市民に親しまれてきた湊川公園の“神戸タワー”

★姿を消した神戸タワー

「この文明を利用しながら
他方ではネアンデルタール
人のような単純な感覚と頭
脳ともをもつて、自分をあ
くめた自然の姿を眺めてき
た」と作者「あとがき」に
ある通り、発達し過ぎたと
言つても過言でない今日の
物質文明の中で、人間の普
遍性を問いつづけることは
詩人に架せられた十字架で



★和田悟朗処女句集
「七十万年」発刊

雨天決行のこの集いは毎回
京阪神の文化人、ジャーナ
リスト、コレクターなど多
数が参加して意見の交歓が
行なわれる異色の集いであ
る。

「何げなく描きはじめた漫画だけれど、描いているうちに漫画のものつ魅力に惹かれ、やめられなくなりました。表面上のギャグしか問題にされない漫画も、つくり出すうちに広い視野からものを見るようになり、人生修養にもなります。これからもよりよい作品を描いて、いずれ自費出版もする予定です。」
と今後の抱負を語っています。

き
この青年は前川義人さん
という二十五才の住友ゴム
に勤務する一見平凡なサ
ラリーマン。慶應大学在学
中からマンガクラブに所属
し、朝日新聞に紹介された
こともある。昨年卒業して
郷里神戸の住友ゴムに入社
した長田高校出身の神戸つ

TEL 03-3922-▽に開店した。

大正13年に建てられて以来四十余年間、神戸名物として市民に親しまれてきた湊川公園の“神戸タワー”

★姿を消した神戸タワー

ル。そしてマオタイ酒は北京時代をしのんで、主人木村憲吾氏が、わざわざ中国酒の準備をととのえたもの。神戸新聞東京支社長の松井高男氏、日経新聞の岡本記者、岩島道枝さんなど東京の神戸っ子にじまって、民芸の清水雅夫さん達など顔ぶれも賑やかに開店の「蛸の壺」へつめかけた。

トリアが美しく咲く店内には、神戸の店と変わらぬ芸能調のインテリアで、たちよって、神戸っ子が「神戸の店を想いだして懐しい」と喜ぶことにしきり。間口が狭いので、神戸の店と同じく席の後が狭くて通りにくいことも、これまでケッコウと/orいことらしい。蛸焼には、灘

れて、針金で、トランクキーの具どうしをしっかりとしめつければそれでよい。これなら、安あがんで、いつでも元どおりになる。

獵犬はトランクに
十一月一日は狩猟解禁。ハンター
一ブームで近くの山には、
い狹場がなくなった。どうして
逃出をしなければならぬ。
國鐵で送るに大損よりも高く
てしまふ。ハンターには、マイ
ーがないと具合が悪い。
マイカーでなく早めに行く時、
もつと手取り早いのは、リフ
シートをはずし、乗せていく
だけだ。

最近一関西地区に新国際空港をつくる場合は淡路島が有力であろう、また、着工は札幌国際空港よりも優先する」という見解が、手塚運輸省航空局長から発表された。



★関西新国際空港論

建設促進についても神戸青年会議所が10周年を迎えた記念行事として全面的にとりあげ関西新国際空港問題特別委員会（委員長、ウンオ工業社長牛尾吉朗氏）を設置、兵庫県・神戸市・神戸商工会議所学識経験者などの協力を得て、「AIR PORT OF VISION」という冊子を刊行し、関西国際空港へのビジョンを描き建設への提案を行った。

非常に高く評価されてゐる。これは、神戸青年会議所が、明日の神戸の繁栄を願つて全力を傾けて製作したというだけあって、装訂、内容ともに国際的なレベルを誇つてゐる。中央で高く評価されるのは当然の結果と思われれる。とくにこうした未来論が直接政治に反映されつつあるということは、運輸行政の要を握る中曾根運輸大臣の見識の豊さを認めなければならないだろう。

ブランゲルノンの相役のフレデリック・ド・バスカルは、映画美術家として活躍していた人。そのマスクを買わされて、五四年、ロベルト・アンリコ監督の「美しき人生」に主演。その後数本の映画に出演したが、この映画でもその彫りの深い演技を披露している。

撮影監督はペテランのロジェ・デュキエロ。音楽は最近めきめき売り出してきた新感覚派ジャッック・リチャード。街と美しく表現の心をよぎる光と影を美しく表現している。

（東和配給）

毎月応募ハガキの中から抽選で十名様を試写会にご招待します

(高さ57㍍)もとうとう姿を消した。浅草の12階建ての塔、大阪の天守閣のむこうを張つて建てられた当初は人気を呼び、また戦前、戦中にかけては消防の望楼や空襲の監視所などにつかわれて活躍したが、戦後は老朽がはなはだしく、広告のスポンサーもつかず、まったく無用の長物になってしまった。その上最近では危険になってきたため、公園整備工事で撤去することになったものの、とりこわしあり作業は9月17日から約ふた

★女子高校生にモテた
服飾デザインノロノテス

福富学園が初めて設けた「高校生の服飾デザインコンテスト」は、九州・四国・近畿・北陸など全国の高校から二、三三七点の応募があり現代づ娘のおしゃれ開拓度がいかにレベルが高いかを示した。審査には、小磯良平、白川渥、赤根和生

た。
なお11月2日兵庫県民会館で入賞作品を福富学園で实物作成のうえ、ショーフ式の発表会を行い、神戸をはじめ各地で開催される。

新村正、大丸弘、今竹幸子
近藤年子、山沢栄子各氏に
福富芳美学長が加って熱心
に討議された。

その結果特賞は原田加代
子（岡山・新見高校）一等
は弥十郎光子（兵庫・加古
川西高）二等は田中美穂（
姫路・琴丘高）日野真智子
(兵庫・新宮高)三位には
藤尾悦子(神戸・須磨女子
高)尾上久美子(姫路・飾
磨高)三宅公子(岡山・就
実高)さん他32名が入賞し



★コウペ・ムービー・コーナー

秋、秋、秋、
深い秋!!

松茸の香り高い
風雅な鍋物がさかんです
一度お運び下さいまし。

魚ちり、魚すき、てつちり、
鯛ちり、かにちり、ブタちり、
かしわの水煮き、牛肉しゃぶしゃぶ
すきやき、御会席料理一品料理

お申付け下さい。一、〇〇〇円より

忘年会、幹事様へ!!

一〇人、二〇人、三〇人、四〇人、一〇〇人でも一部屋で出来ます



神戸中山手四

㉚ 7836、7846、

リンゴ酢と蜂蜜で

腕をふるつた

新しい“味”

このおいしさが

美容と健康にプラスします

神戸三宮生田ノ社ノ西

鮓の又 半
電話・三の宮 ⑬ 0935

足立卷一 え・津高和一

ほくたちは「悪童」ではなかった。
しかし「善童」でもなかった。

14

草色のマント

非物語

ぼくが、その軍人につれられて三宮駅におりたのは、大正十年の春であった。

そのころ、三宮駅はいまの元町駅のところにあって、赤レンガのガードがあり、それを穴門と呼んでいた。それがいま、穴門筋という名で残っている。

駅を出ると、人力車がなんらんでいた。神戸だというのに、どうして神戸駅で知らないのかふしきであったが、とにかく、ぼくは軍人のうしろについて、チンチクリンのきのものを着て小犬のように歩いた。ぼくは長崎の小学校で一年生の終業式をすませたばかりであった。そのとき、一年生の総代に指名されて、はじめてずつしりとした終業証書の束を校長先生からもらつた。それはぼくひとりがもらうものと思ってよろこんだが、すぐに同級生に一枚一枚配らねばならないことがわかつてがつかりしたものだ。そして、数日後にその中尉の軍人がぼくを連れ出したのである。

だから、春休みになつたばかりのはずであった。

それなのに、どういうわけか、その軍人は草いろのゆつたりしたマントを着ていた。軍人は短い口ヒゲを立てゆつくり胸を張つて正面ばかり見すえて歩くごとにサベルが長靴にチヤカチヤカ鳴る。ときに、風がきてマントがふわりとひろがつた。

ぼくには、とろけそうな幸福感があつた。

その草いろのマントは、意地のわるい悪魔の黒いマントではなく、とてつもなく幸福なところへぼくをつれ出してくれる奇蹟のマントのように見えた。

じつさい、その軍人は長崎の親戚の染物屋からぼくをつれ出すと、その日は汽車で長崎県の大村というところへつれてゆき、広い明るい家でごちそうをてくれたメガネをかけたきれいなおくさんと、上品なおばさんがいて、ぼくがおなかいっぱいになつたのに、何度もご飯のおかわりをすすめた。大村には歩兵連隊があり、軍人はそこに勤務しており、その家は将校官舎であったのだろう。

庭には池があつて、そのうえでサクラがふくらんでいた。庭のむこうはいちめん青々とした畑で、いい匂いを

前号まで 父は二六新報という新聞の同人であったが、

ぼくの生後四ヶ月で急死し、ために母と実家へ帰り、ぼくは東京で漢学者の祖父、祖母に育てられた。ところが祖母も小学一年生のときに死去し、祖父につれられて故郷長崎に引きあがたが、その祖父も死んで孤児となり、親戚の寺や染物屋で養われていた。それが急に神戸の母の実家へ引き取られることになった。

持った風が吹いてくる。

ほどなく、電灯がともつた。ぼくはその明かるいのにも、びっくりした。染物屋でほどきのをしていたときの、すぐ眠くなるようなうす暗い電灯とはまったくがって、電球で、部屋が白金色に見えた。

そのうち、やさしいおばさんが「おフロにおはいりなさい」といった。湯殿も新しく、木の香がぶんぶんにつた。おばさんは総ヒノキの湯船に手を入れ、しばらくかきまわし、「あつかつたらいいてちょうどだい」とい、ぼくの顔をじっと見た。それがまぶしくてたまらず、思わず目をそらした。

お



湯船はとても大きかった。そのなかにたつひとりつかっていることが、なんだか心配なほどであった。それまで、そんなおフロは知らなかつた。東京でも長崎でも

錢湯だつたし、お寺に世話になつてゐるときも五右衛門プロでお尻がひどくあつかつた。

フロからあがると、おばさんがノリで固いユカタを着せてくれ、「あすは早いから、すぐおやすみね」といつた。そうして導かれたフトンもきれいな色で、ふわふわで羽のように軽かつた。そんな上等なフトンもはじめてであつた。

興奮したのか、こどものくせになかなか寝つかれなかつた。となりの部屋では、軍人とおくさんとおばさんとがしきりに話しあつてゐる。もっとも、軍人の声はほとんど聞こえず、ふたりの女の声ばかりがつづく。そのうち、どうやら話はぼくのことになつたらしい。

「あんなちいさい子じやうのに、賢いねえ。おフロにはいるとき、手拭いでちゃんと前をかくしていだよ」おばさんの声だった。と、おくさんが「へえ」と感心したようにい

「学校もとつてもできるんですつてね。おそろしいような子ね」

と、つづけた。

ぼくはそれを聞きとめて、どきりとした。うれしくなり、得意になり、そのうち何だかかなしくなつてきた。フロへはいるとき、手拭いで前をかくすのがそんなに賢いことなのか? 学校ができるといつても、一年を二度やつたからで、自分のことがすいぶん誇張して伝えられているのを知つて不安になつた。それがなぜ、「おそろしいよう」なのか?

おそらく、放浪にちかい生活のうちに、ぼくはずいぶんヒネこびた少年になつていたのにちがいない。と、いまでは思う。

そうして、その軍人がぼくをつれていった神戸の家は生田筋の、生田神社の裏門をすこしさがつた薬局であつ

た。見あがると、くりぬきにした大きなトラの看板がかっている。赤い口を大きくあけて、尻尾を巻きあげて立さきには赤いポストが立っていた。

そのトラの看板とポストさえも、きわめて幸福なものしるしに思われた。母の兄の家であった。

ぼくは小学校にはいる前年、ばあさんにつれられてはじめて長崎へ帰ったことがある。そのとき、じいさんはひとりおくれて東京を出、あとから長崎へ追いかけた。後年、じいさんの遺稿を調べていると『西下つて来た』。

明治四十四年、大阪浜田日報社発行『名所図会』（敬亭散史著書のうち）から



日記、一名『疑夢游録』というのがあった。そのときの紀行を口述し、尾崎楓鏡が筆記したものである。

それによると、じいさんは大正九年二月、わざわざ信越線、北陸線回りで長崎へむかい、途中神戸に下車している。じいさん——敬亭散史が三宮駅におられたのは二月四日正午である。

駅にはたくさんの出迎えの人たちがカキをつくっている。ところが、自分を出迎えるはずの人は来ていない。腹はへるし、失望のきみだ。しかたがないので人力車をやとって下山手通一丁目の家をたずねる。

「家ヲ見ルニ、大虎ノ看板アリ。屹然トシテ屋上ニ聳ユ下ハ薬（薬）店ヲ開ク」

店にはいって一家の歓迎を受ける。家人が、電報を受け取って早朝から昼まで交替で出迎えを以ていて、のに、お見えにならないので心配していました、といふそこで、じつは北陸線回りで來たことをいった。

「家人、啞然トシテ曰ク、宜ナル哉」

家人はさつそく膳を運んで来る。

「第一ニ欣然トシテ挙ゲル者ハ、灘醸美酒ノ一盃ナリ。

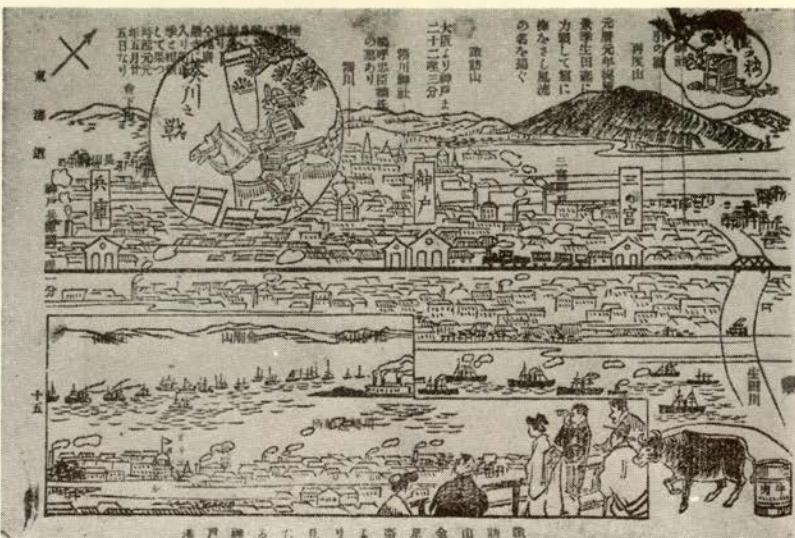
灘ハ海内ノ銘酒。名ハ及バズトイヘドモ、実味ハ伊丹ニ勝レリ。カツテ頼山陽ヲシテ灘ヲ垂ラサシム。余モ亦入神第一ニ此ノ美酒ヲ飲ム……」

つまり、灘の酒にすっかりごきげんになつたわけだがそのころはまだ伊丹の酒のほうが有名だったらしい。

それから、さつそく生田神社に出かけ、源平の合戦をしのび、夕食には明石ダイが出て喜び、翌日から福原、湊川神社、諏訪山を見物して長崎へ出発している。

ぼくはじいさんの二年のうちに、その大トラの看板の店へつれていかれたことになる。看板はじいさんさえ「屹然トシテ屋上ニ聳ユ」と書いたほどだったから、少年のぼくにはとてつもなく巨大に見えた。それとともに、大きな誇りのような感情がこみあげてきた。

その店には伯父夫婦、五つ年した男の子、七つ年した女の子、伯父の母と姉がいた。ぼくには従弟妹、外



祖母、伯母にあたる。

一家は敬亭敬史の『西下日記』にあらわれているよう
な、善意の人たちであった。ことに、伯母は自分の子た
ちと差別しないように特に心を使っていたし、いとこ
たちはぼくを「にいさん」と呼びなわすようになった
が、ぼく自身はすぐに草いろのマントが象徴した幸福感
から醒め、善意さえも素直に受け取らない少年になつて
いた。

草いろのマントを着たその軍人が、「ジュンソさん」
という名であることを、やがて伯父や伯母の話から知
った。母のイトにあたることもわかつた。「ジュンソ」
が準三の漢字をあて、その姓が「能勢」であるのを知つ
たのは、中学にはいつてからである。

数年前、「朝日ジャーナル」を何気なくひらいている
と、終戦特集記事のひとつに軍人一家のその後が報道さ
れていた。読み進むうちに、それがジュンソさん一家の
ことだと気づいて声をあげそうになった。それによると
敗戦のとき、能勢準三は陸軍少将であり、三人の男の
子もすべて幼年学校から陸軍士官学校を卒業した将校で
あった。それだけに、敗戦の打撃は一家にきびしく、そ
れを苦闘のすえに切り抜けたという記事であった。

元少将はグラビア一ページの写真になっていた。暗い
倉庫のなかを、くたびれたセビロのポケットに両手をつ
つこんだまま巡視しているようなポーズであった。

あたまはきれいにはげ、顔には深いシワがあつた。微
笑しているが、奇妙に暗い影はなかつた。もちろん、あ
の幸福の使者の草いろのマントはどこにもなかつたが。
ぼくはさつそくにも手紙を書こうと思った。ところが
突然急な仕事がおこつて巻きこまれ、「朝日ジャーナル」
はどこかへ消え、手紙を出す機会をうしなつた。
ぼくはいまも、それを深く悔いている。(つづく)

オール関西 11月号 一九〇円

☆関西の情報総合雑誌

▲書店にて発売中▼

特集／大阪湾ポート・オーソリティ論

原口忠次郎神戸市長に聞く

対談／戦中産と戦無派はつながらない！

黒岩重吾／赤尾兜子

好風対話／命をかけて生命をまもる

高田好胤／本田良寛

ルボルタージュ／花紋綱／現代人間学／遊び空間プロデューサー

好評連載小説／花紋綱／新橋遊吉

名作の中の関西／佐藤春夫／昌子曼陀羅／大谷晃一

三洋新人文化賞(第11回)発表／立体造形部門福岡道雄

発行所／大阪市北区曾根崎上一丁目三〇八千代会館

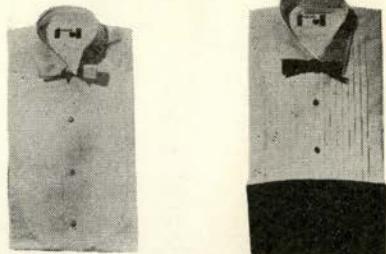


ハイセンスの紳士服で最高のおしゃれを！

三恵洋服店

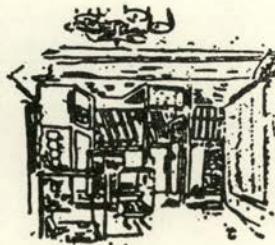
元町4丁目 TEL ④ 7290

KOBE SHIRT



よろずゆ 襯衣縫上處 神戸シャツ

神戸店 - 神戸大丸前 33-2 1 6 8
東京店 - 東急日本橋店1階 211-0511 内線219
東急渋谷本店6階 462-3433



シャレたセンスの
舶来品が
揃っています



元町2丁目
③ 4707-8



高級紳士服専門店
神戸テーラー
さんちかメンズタウン TEL ⑨90388
生田区北長狭通2(阪急西口) TEL ③2817-3173

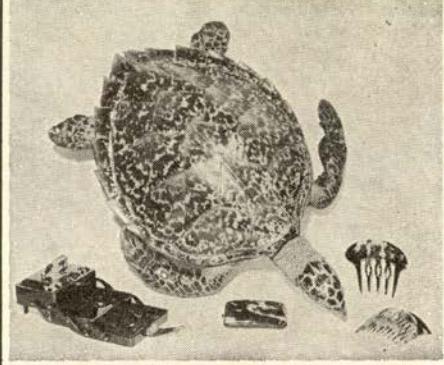


Mr. Kent
came to Kobe
流行に左右されない
本来のオシャレ
それがKentです
シックな
スコッチ風の店舗
それがFunakiyaです

オシャレ洋品の店

フナキヤ

元町3 TEL <33> 3617



センスあふれる
べっ甲専門店

太田鼈甲店

元町1丁目 TEL ③6195



大上靴店

元町通1丁目 TEL 33・3962
さんちかメンズタウン TEL 39・4627

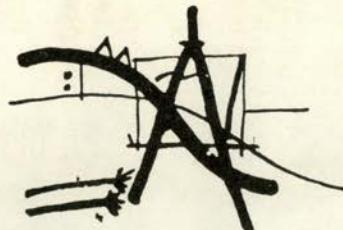
創作ハンドバッグ
工芸品 ORIGINAL

神戸■元町
ACCESSORIES

イクシマヤ

TEL. (33) 2415・2416

額縁絵画・洋画材料 室内工芸品



末積製額

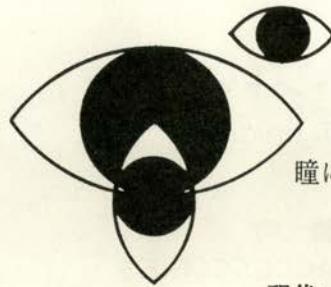
三宮・大丸北
トア・ロード
⑩1309・6234



三宮方面でのお買物は
元町方面宮崎町の店
元町通一丁目不二家前側
元町通一丁目自山前側

| | | |
|----|----|----|
| 09 | 03 | 03 |
| 00 | 04 | 44 |
| 70 | 90 | 90 |
| 69 | 64 | 45 |
| 80 | 95 | |

おもちゃの
カ
メ
ヤ



瞳に美しさを保つ
スポーツに
美容に
現代の科学が生んだ
コンタクトレンズ

日本コンタクトレンズ協会会員
国際コンタクトレンズ研究所
神戸市東区御幸通八丁目九ノ一（三宮駅前）
神戸国際会館内 TEL (22) 8161・(23) 2570



羽アリを見たら
危険信号



白アリ

一回全滅 十年間責任保証
兵庫県環境衛生事業協会理事
日本白アリ対策協会認定防除施工士
神戸商工会議所会員
アイワ消毒株式会社
神戸市生田区中山手通3～52
トアロード筋
TEL (39) 8636 (33) 0854

支店 本店

TEL さんちか味のれん
⑨ 523 街 567 み
TEL 大丸前・三宮神社
⑩ 577 東

お す し
て ん ぶ ら

榮彌

営業時間
A.M. 11:30~P.M. 9

創業明治二十一年
履物の山下
古い老舗に新しいセンス

神戸 三宮センター街
TEL ⑨ 0256
確実正札 完全冷暖房
静かに品選びの出来る店

神戸っ子のみんなに愛される落ちついた喫茶店

ai 喫茶 愛

TEA ROOM

★神戸・元町本通元一ビル2階 TEL (32) 0958

STAND
VIVA KITANO

神戸市生田区北野町3(いろりや上) TEL 22-2926



グラムーレ

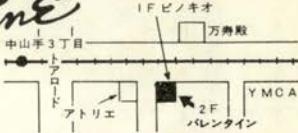
生田筋・岸ビル地階 TEL 33-4637



スナック & プレイラウンジ バレンタイン

Valentine

KOBE・中山手2丁目電停浜
Y M C A 西 T E L 32-2967



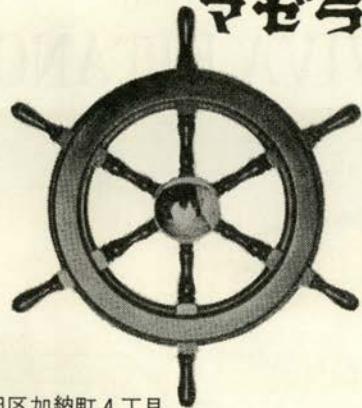
1F ピノキオ
万寿殿

2F バレンタイン

Y M C A

SNACK BAR

マゼラン



生田区加納町4丁目

T E L 39-2366



night cap

TEL 39-2616

神戸市生田区加納町4(阪急三宮山側但馬銀行北小路入る)

むらかみ



洋酒の店キャンティ

Chianti*

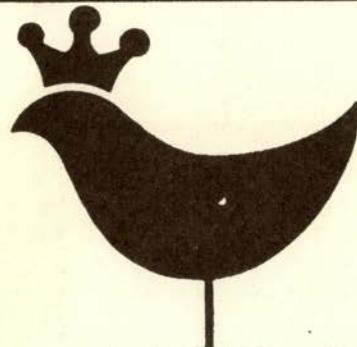
榎 晴 夫 TEL(39) 3060

213 KITANAGASA-DORI IKUTA-KU KOBE

CLUB
Young Bell

松田 真理子

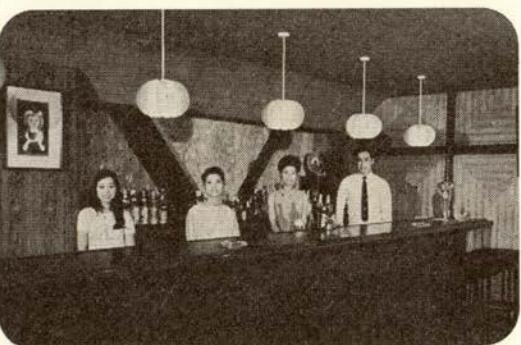
生田・中山手2丁目89・光ビル1階 TEL 33-3052



CLUB 小万

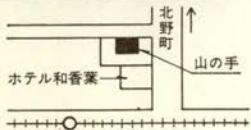
生田新道相互タクシー上る

PHONE : 39—0638
39—4386



SNACK
YAMANOTE

神戸市生田区中山手1丁目
ソニビル TEL 22-3637



市電中山手1丁目